

科目名	検定対策ゼミB(宅地建物取引士試験対策ゼミ)						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	森行 美枝
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	建築CAD科2年						
授業概要	宅建試験の合格も視野に、試験の問題演習を通して、建築物を取引する不動産権利取引に関する知識を修得する。それにより、建築物の財産的価値の重要性を認識できる視点を養う。後期は特に重要ポイントを絞り込んだ総合的な演習も盛り込む。						
授業形式	講義：	○	演習：	△	実習：	実技：	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				宅建業の業務内容と役割の特に重要な部分について、関連条文の規定を用いて説明できる	
	○	○				宅地建物取引士の実務における重要事項を条文規定を用いて正しく説明できる	
	○	○				民法の権利義務関係について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる	
	○	○				不動産取引手続きに関する問題について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる	
					○	宅地建物取引士資格試験合格	
テキスト・教材 参考図書	出る順 宅建士 ウォーク問過去問題集2018年版①～③【東京リーガルマインド】						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	用語の定義／免許制度／宅建士制度営業保証金／保証協会／媒介契約等の規制					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	2	重要事項の説明／37条書面 8種制限／業務上の諸規制／監督・罰則 単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと
	3	報酬／住宅瑕疵担保履行法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	4	制限行為能力者／意思表示／代理時効／不動産物権変動／物権関係					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	5	抵当権／保証・連帯保証／連帯債務債権譲渡／債務不履行と解除／弁済・相殺／売買 単元テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと
	6	借地借家法/借地借家法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	7	区分所有法／不動産登記法 テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと
	8	都市計画／開発許可制度/建築基準法(単体規定・集団規定)／宅地造成等規制法					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	9	土地区画整理法／農地法/国土利用計画法／諸法例					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	10	国土利用計画法／諸法例/不動産取得税／固定資産税					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	11	不動産譲渡所得／登録免許税／印紙税／贈与税					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	12	地価公示法／不動産鑑定評価基準 テスト					正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと
	13	住宅金融支援機構／景品表示法/土地／建物／統計					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	14	全国模擬試験①					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
	15	全国模擬試験②					学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること
評価方法	(1)単元テスト(2)模擬試験(3)宅地建物取引士資格試験の点数で評価する 成績評価基準は、平均正答率 S(90%以上)・A(80%以上)・B(70%以上)・C(60%以上)・D(59%以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	単元テスト	○	○				40%
	模擬試験	○	○				40%
	宅地建物取引士資格試験					○	20%
履修上の注意	難しい法律用語が多々出てくるので、用語の意味をその都度細かく確認すること						

科目名	BIM 専攻ⅡB(選択)						
科目名(英)	Building Information ModelingⅡB						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	道脇 力
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築系2年共通						
授業概要	・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。						
授業形式	講義:		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○	○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。	
			○			BIMワークフローにより効率よく設計ができる。	
		○	○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	課題:複合ビル「制作②」				情報、資料収集を行うこと	
	2	課題:複合ビル「制作③」				情報、資料収集を行うこと	
	3	課題中間報告(発表)				発表資料の確認を行うこと	
	4	課題:複合ビル「制作④」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	5	課題:複合ビル「制作⑤」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	6	課題:複合ビル「制作⑥」				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	7	課題:複合ビル「制作⑦」				必要提出資料の確認を行うこと	
	8	課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」				必要提出資料の確認を行うこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		◎		○		50%
	課題提出		◎		○		50%
履修上の注意	出席が60%に満たない場合は、単位を認めない。						

科目名	BIM IV						
科目名(英)	Building Information Modeling						
単位数	4単位		時間数		60時間	担当者	道脇 力
実施年度	2019年度		実施時期		後期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築CAD科・2年						
授業概要	チーム編成し、複合施設の設計を通してモノづくりの過程を学び、また、課題の制作を通じた実践的な表現技術の応用力を身につける。さらに、各用途の建築計画的理解を深め、豊かな表現力を身につける						
授業形式	講義:		演習: ○		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		◎		チーム編成をし、役割分担後チームワーク機能を効果的に活用してモデリングを行うことができる。	
		○	○			役割分担をし、課題に必要な情報収集を行うことができる。	
			○	◎		ゾーンツールを使ってボリュームスタディができる。	
			○	◎		BIMワークフローにより効率よく設計ができる。	
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 2	課題:認定こども園①チーム登録、現場調査 ②ディスカッション、コンセプト				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	3 4	課題:認定こども園 エスキス、ゾーニング				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	5 6	課題:認定こども園 エスキス、ゾーニング				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	7 8	課題:認定こども園 エスキス、ゾーニング				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	9 10	課題:認定こども園 プランチェック、面積表 → 課題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	11 12	課題:認定こども園 課題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	13 14	課題:認定こども園 課題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	15 16	課題:認定こども園 課題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	17 18	課題:認定こども園 中間プレゼンテーション(発表)、質疑応答、総評 ※データ提出				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	19 20	課題:認定こども園 課題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	21 22	課題:認定こども園 題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	23 24	課題:認定こども園				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	25 26	課題:認定こども園 課題制作				タイムスケジュールの確認を行うこと	
	27 28	課題:認定こども園 課題制作				必要提出資料の確認を行うこと	
	29 30	課題:認定こども園 終プレゼンテーション(発表)、質疑応答、総評 ※データ提出				必要提出資料の確認を行うこと	
評価方法	(1)1つの課題提出を行う。(2)課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する。(3)期限内に提出すること。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出	○	○		○		30%
	課題作品		○	○			60%
	提出状況		○		○		10%
履修上の注意	出席が2／3に満たない場合は、単位を認めない。						

科目名	Revit II						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	笠 真由美
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	建築CAD科・2年						
授業概要	前期で学んだ基本操作をもとに課題作成に取り組みます。 Revit操作の習熟を通してBIM設計に必要な技術と建築計画の手順を学びます。						
授業形式	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				企画設計として、Revitによる平面計画のモデリングができる。	
	○	○				企画設計として、Revitによる外観パースの作成ができる	
	○	○				企画設計として、Revitによるシート設定と図面の書き出し／読み込みができる。	
	○	○				基本設計として、Revitによる平面図・断面図・面積表を作成することができる。	
	○	○				基本設計として、Revitによるシート設定と図面の書き出し／読み込みができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント 初めてのRevit & Revit LT 実践BIM入門ガイド Autodesk Revit 2018 トレーニングテキスト(参考)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	【企画設計】計画条件/ボリューム検討					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	2	【企画設計】プラン作成/面積確認					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	3	【企画設計】平面計画①・・・通り芯・柱・基礎					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	4	【企画設計】平面計画②・・・基礎梁・壁・位置調整					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	5	【企画設計】平面計画③・・・バルコニー・廊下・床・建具					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	6	【企画設計】平面計画④・・・上階作成・屋根・階段・					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	7	【企画設計】平面計画⑤・・・外構・その他					データの提出を求めます。 未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。
	8	【企画設計】外観パース作成・・・カメラ・レンダリング・ビューの保存					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	9	【企画設計】シート設定と図面の書き出し／読み込み					レイアウト図面の提出を求めます。 未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。
	10	【基本設計】各階平面図作成①・・・間取りの作成・部屋の配置・ドア					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	11	【基本設計】各階平面図作成②・・・設備・天井・上階の作成					データの提出を求めます。 未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。
	12	【基本設計】各階平面図作成③・・・寸法・各階調整・ビューの確認					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	13	【基本設計】断面図作成・・・断面線・ビューの確認					データの提出を求めます。 未提出者は次回授業までに必ず提出して下さい。
	14	【基本設計】面積表作成					繰り返しの練習が大切です。 授業内容を復習しましょう。
	15	【基本設計】シート設定と図面の書き出し／読み込み					レイアウト図面の提出を求めます。
評価方法	(1)課題の提出状況 (2)課題作成の正確さ 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	企画設計 モデリング	○	○				20%
	企画設計 外観パースの作成	○	○				20%
	企画設計 シート設定と図面の書き出し／読み込み	○	○				20%
	基本設計 平面図・断面図・面積表の作成	○	○				20%
	基本設計 シート設定と図面の書き出し／読み込み	○	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合、提出課題が未提出の場合は履修単位を与えない。						

科目名	就職実務ⅡB									
科目名(英)										
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	今泉清太		
実施年度	2019年度			実施時期	後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	建築CAD科 2年									
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 就職活動における作品集作成や履歴書記入方法など、社会人になる上でのスキルを身につける。									
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○					就職活動における企業研究を行うことができる				
	○					自己分析を行うことができる				
	○					作品集を作成し就職活動ができる				
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック 社会人研修ノート									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	3	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	4	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	5	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	6	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	7	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達								
	8	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	9	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	10	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	11	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	12	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	13	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	14	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習								
	15	社会人研修								
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	出席状況				◎		60%			
	受講態度・意欲	○	○				30%			
	課題の提出	○	○				10%			
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする									

科目名	建築士対策 I（製図）						
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING						
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	今泉清太	
実施年度	2019年度		実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	建築CAD科2年						
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 木造建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。						
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○	その他：△	
学習目標 （到達目標）	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	△	○				方眼紙を読む力がある(m計算や量数)が瞬時計算ができる。	
	○	○				木造建築の課題の特徴、出題傾向が説明できる。	
	○	○				各構造の矩計図、断面図の理解し、各部の名称が答えられる。	
		○	○			建築士2次試験問題を限られた時間で描ける	
テキスト・教材 参考図書	総合資格 2級建築士 設計製図 テキスト						
	1	各種図面について断面図について			前回学習したことを復習する		
	2	共通項目 設計製図試験の概要 試験の制度 特徴とポイント			前回学習したことを復習する		
	3	共通項目 設計製図試験の概要 不合格の図面とは			自己採点表を配布事前に確認させ、減点項目を知っておく。		
	4	共通項目 設計製図試験の概要 受験の心得え 出題傾向			試験当時配布プリントを配布確認		
	5	共通項目 設計製図試験の概要 近年の出題傾向			高齢者に向けた対応を調べさせる。		
	6	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセットのしかた			テキストを忘れないように		
	7	共通項目 製図を始める前に（ビデオ）様々な表現			表現方法テキストで確認		
	8	線の種類と用途、製図記号 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認		
	9	外構、植栽等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認		
	10	家具、設備機器等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認		
	11	設計製図試験における関連法規			建築基準法令集持参確認		
	12	木造 木造専用住宅 構造計画 配置計画と外部動線					
	13	木造 木造専用住宅 平面計画					
	14	木造 木造専用住宅 課題文の読み取り、			色鉛筆 蛍光ペン準備		
	15	木造 木造専用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する		
	16	木造 木造併用住宅 構造計画 配置計画と外部動線			前回学習したことを復習する		
	17	木造 木造併用住宅 平面計画			前回学習したことを復習する		
	18	木造 木造併用住宅課題文の読み取り、			前回学習したことを復習する		
	19	木造 木造併用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する		
	20	木造 要求図面 要求図面の描き方			テキスト熟読する		
	21	木造 要求図面 1階平面図兼配置図と2階平面図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	22	木造 要求図面 立面図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	23	木造 要求図面 断面図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	24	木造 要求図面 2階床伏せ図兼1階小屋伏せ図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	25	木造 要求図面 部分詳細図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する		
	26	チャレンジ課題① 課題読み合わせ ポイントライン引き			テキスト巻末課題準備		
	27	チャレンジ課題① 作図演習			テキスト巻末課題準備		
	28	チャレンジ課題① 作図演習			テキスト巻末課題準備		
	29	チャレンジ課題① 作図演習			テキスト巻末課題準備		
	30	チャレンジ課題解説 情報共有			解説復習		
評価方法	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎				30%
	チャレンジ課題①	○	◎				70%
履修上の注意	出席率60% 未満者 単位付与しない。						

科目名	建築士対策（計画）						
科目名(英)	Architectural Planning						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	森行 美枝
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築CAD科2年						
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備						
授業形式	講義：	○	演習：	△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。	
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
	○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市における役割など、正解を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築計画 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 気候					
	2	第2章 伝熱・結露				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第3章 日照・日射・採光 第4章 音響				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第5章 色彩				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第6章 環境工学融合				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第7章 空気調和設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第8章 給水設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第9章 排水衛生設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第10章 電気・照明設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第11章 消火・防災設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第12章 設備融合				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第13章 建築史 第14章 計画一般				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第15章 住宅				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第16章 商業建築 第17章 公共建築				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第18章 地域計画 第19章 各論融合				今までの復習プリントで復習	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（法規）						
科目名(英)	Building regulations						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今泉清太		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築CAD科2年						
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○	○	△				
	目標						
	○	○					
	○	○					
	○	○					
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築法規 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 総則 用語の定義 面積・高さ等の算定方法					
	2	第1章 総則 確認済証の交付			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	3	第1章 総則 手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	4	第2章 一般構造等 一般構造 建築設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	5	第3章 構造強度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	6	第4章 防火関係 防火構造等 法22条区域内の建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	7	第4章 防火関係 耐火・準耐火建築物 防火・準防火地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	8	第4章 防火関係 防火区画・間仕切壁 内装制限等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	9	第5章 都市計画区域等の制限 道路・壁面線			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	10	第5章 都市計画区域等の制限 用途地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	11	第5章 都市計画区域等の制限 容積率・建ぺい率			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	12	第5章 都市計画区域等の制限 高さの制限 日影規制			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	13	第6章 雑則			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	14	第7章 その他の関係法令 バリアフリー法 耐震改修促進 法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	15	第7章 その他の関係法令 建築士法 都市計画法 その他			今までの復習プリントで復習		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（構造）						
科目名(英)	Building construction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	黒木		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築CAD科2年						
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料概要。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
	○	○					
	○	○					
	○	○					
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築構造 総合資格 厳選問題集500＋100。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 構造物と力			第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく		
	2	第2章 静定構造物の応力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	3	第3章 特定トラスの応力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	4	第4章 断面の性質			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	5	第5章 応力度と許容応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	6	第6章 変形と不静定構造物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	7	第7章 荷重・外力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	8	第8章 地盤と基礎構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	9	第9章 木構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	10	第10章 鉄筋コンクリート構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	11	第11章 鉄骨構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	12	第12章 その他の構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	13	第13章 構造設計			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	14	第14章 建築材料			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	15	第14章 建築材料			今までの内容を復習する		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	建築士対策（施工）									
科目名(英)	Building Construction									
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	集路		
実施年度	2019年度			実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築CAD2年									
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。 工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約									
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標				
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける				
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける				
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける				
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける				
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。				
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅳ施工									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	第1章 工事契約								
	2	第2章 工事監理・施工業務					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	3	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	4	第5章 土工事・基礎地業工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	5	第6章 鉄筋コンクリート工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	6	第7章 鉄骨工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	7	第8章 コンクリートブロック工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	8	第9章 木工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	9	第10章 防水・屋根工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	10	第11章 左官工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	11	第12章 タイル・張石工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	12	第13章 塗装工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	13	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	14	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事					復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	15	第18章 用語・機械 第19章積算					今までの内容を復習する			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		○	○				80%		
	復習問題		○	○				20%		
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・									

科目名	卒業制作Ⅱ							
科目名(英)								
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	板野純	
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	建CAD科2年							
授業概要	専攻ゼミⅡで選択した専門知識及び前期の卒業制作授業の知識等から、修得した建築や造形デザインの知識、技術、センスを活かして、その集大成を研究をとおして卒業設計・論文にまとめる。建築・造形という分野の中で研究の意義を熟考した上でテーマを選定し、担当教員の助言・指導のもと調査・研究を進める。成果は最終的に作品パネルや模型あるいは研究論文としてまとめ、研究発表を行う。							
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
		○				本学におけるこれまでの学習の成果を確認できる。		
		○		○		テーマ設定、資料収集、リサーチ、構想、計画、制作、検証といった一連の活動に主体的に取り組むことができる		
		○		○		前述の一連の活動を通じ、自分の意見を相手に伝えられるようになる。また、そのことで自分自身のコミュニケーション能力や、考察力を確立できる。		
		○		○		卒業制作を通して、設計者、技術者、研究者として必要となる洞察力や表現力を身につけることができる。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1 2 3	全体および卒業研究グループ(ゼミ)でのオリエンテーション						
	4 5 6	課題設定 (全教員)				授業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	7 8 9	卒業研究 敷地決定 建築デザイン講義				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	10 11 12	卒業研究 エスキース講義 プラン作成				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	13 14 15	卒業研究中間発表 作品発表講評会				講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。		
	16 17 18	作品作成				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	19 20 21	卒業研究中間発表 作品発表講評会				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	22 23 24	卒業研究 A1レイアウト				スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。		
	25 26 27	作品作成				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	28 29 30	卒業研究中間発表 作品発表講評会				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	31 32 33	作品作成				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	34 35 36	卒業研究最終発表 作品発表講評会				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	37 38 39	中間発表 ポスターセッション(全教員)				業開始前までに 指示された内容を情報共有。授業後復習		
	40 41 42	プレゼンテーション1 (全教員)				講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。		
	43 44 45	最終発表、講評、審査 (全教員)				講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。		
	評価方法	出課題作品の完成度とプレゼンテーションの出来栄によって評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		課題作品	○	◎		○		80%
		エスキスチェック	○	○		◎		10%
発表		○	○		◎		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	数学ゼミⅡB									
科目名(英)										
単位数	1単位			時間数	15時間		担当者	吉田麻美		
実施年度	2019年度			実施時期	後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	建築CAD科 2年									
授業概要	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す									
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				正三角形・二等辺三角形の性質と条件を利用した基本問題が解ける				
	○	○				三角形の合同条件を利用した基本問題が解ける				
	○	○				平行四辺形の性質と条件を利用した基本問題が解ける				
	○	○				三角形・四角形の性質と条件を利用した応用問題が解ける				
	○	○				三角形と四角形を用いた証明問題が解ける				
テキスト・教材 参考図書	オリジナル演習プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	【演習問題】 三角形と四角形 正三角形・二等辺三角形の性質と条件					解答出来なかった問題は必ず復習・解答の上再提出すること。 また、理解できなかった問題は質問事項を記入して担当教員に提出すること。			
	2	【演習問題】 三角形と四角形 直角三角形の合同条件								
	3	【演習問題】 三角形と四角形 平行四辺形の性質と条件								
	4	【演習問題】 三角形と四角形 特別な平行四辺形								
	5	【演習問題】 三角形と四角形 面積が等しい三角形								
	6	【演習問題】 三角形と四角形 空間図形の中の三角形と四角形								
	7	【演習問題】 三角形と四角形 証明問題まとめ								
	8	【演習問題】 三角形と四角形 総合復習・まとめ								
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	出席状況				◎		60%			
	受講態度・意欲	○	○				30%			
	課題の提出	○	○				10%			
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする									